

MOVE
YOUR
HEART!

FC GIFU

FC岐阜

株式会社岐阜フットボールクラブ

取締役会長 宮田 博之

連載Vol.

90

萩野 涌大 選手・上野 輝人 選手の紹介



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

背番号
23 DF

はぎ の こうだい
萩野 涌大 選手
(23歳)

ホームタウン応援大使
関ケ原町、垂井町
ニックネーム
はぎ

愛知県日進市出身で三人兄弟の末っ子、くりくりの可愛らしい目が特徴。小学1年生の頃、愛知日進少年サッカークラブに入り、中学生で名古屋グランパスU15に加入した。県立三好高等学校時代は勉学と文武両道し、名古屋グランパスU18でサッカーに打ち込んだ。往復16Km、1時間かかる練習場に自転車で通い、2時間の練習を終え21時に帰宅する生活のおかげで強い体が出来上がったと思っている。名古屋グランパスU15では18人で3年間を共にしたが、U18に進めたのは半分くらいで外部から入ってくる選手もいたため競争は厳しかった。この同期の中には名古屋グランパスで日本代表選手にも選ばれた藤井選手やオランダのAZアルクマールで活躍し、同じく日本代表に選ばれた菅原選手がいる。

大学は入学前年に大学サッカー日本一になった法政大学に進学し、Jリーグ入りを目指してサッカーチームに所属した。3年生の時にメンバーとして大学日本一になった。4年生の時にはキャプテンとして、関東リーグ戦で優勝した明治大学との戦いで勝利した。この一戦は今も思い出に残る一戦であった。ゼミでは、スポーツが地域との関係の中で“Well being”(幸せ)に向けて何ができるかを学び議論してきた。FC岐阜では1年間の『SIP(選手育成)プロジェクト』が企画されていて、スタジアム運営、スポンサー営業、スクール、アカデミーなどの内部活動の学びや、小学校、施設、ホームタウンなどの訪問に積極的に参加している。ファン・サポーター・スポンサーなどからどのように見られ、どうすべきかを再認識しているところです。地域を一つに盛り上げるパワーと子ども達から憧れの存在として頑張って行くべきだし、またそれを支えて下さる皆様への感謝の気持ちを常に持って、勝利を目指して頑張っていこうと決意しています。

FC岐阜は経験のあるベテランの選手と中堅の選手、若手のバランスが良く、厳しい指導もあるが、気にかけてくれて可愛がってくれる先輩も多く、学ぶべき点が多く大いに刺激を貰っています。少しづつではあるが、日々成長できる環境でアピールし続けていきます。

父からの言葉『一度言葉にしたこととは、責任をもって最後までやり切れ』を大切にしている「はぎ」のチームでの活躍を多いに期待している。



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

背番号
24 FW

うえ の あきと
上野 輝人 選手
(22歳)

ホームタウン応援大使
恵那市
ニックネーム
あきと

『名は体を表す』とは上野選手のことです。輝く人と書いて“あきと”。

兵庫県西宮市出身、三人兄弟の真ん中で兎に角、明るく前向きな性格でストレスを感じないどころか感じたことがないと言う。樋ノ口小学校1年生の時に、日本代表チームのサッカーをテレビで見て、母にサッカーを習いたいと言い、西宮少年サッカークラブに加入したことでサッカー人生が始まった。学生時代のマラソン大会では常に1位を取るほどの持久力とスピードを生かし西宮市立甲武中学校時代は、ヴィッセル神戸アカデミーのヴィッセル伊丹U15で技術を磨いた

高校時代に所属した県立尼崎高校サッカーチームでは、今まで一番悔しかったことと一番嬉しかったことがあったと披瀝した。尊敬する監督には夢が二つあり、1つが全国高校サッカー選手権大会にチームを出場させること、2つ目が尼崎高校サッカーチームからプロ選手を輩出することであった。2年生時の夏のインターハイには県代表で初出場できたが、冬の全国高校サッカー選手権大会には出場できなかった。そして、絶対プロになると約束し、大阪経済大学サッカーチームに進学した。そして今年J3のFC岐阜に加入して、県立尼崎高校出身で初のプロサッカー選手になった時は高校の監督に連絡して、監督の夢の実現を大いに喜んでもらい最高に嬉しかった。今でも試合に出場するたびに、激励の言葉を貰って有難い限りです。この先の大きな夢の実現に向けて頑張る決意である。

FC岐阜に加入して非常に良かったと思う毎日です。素晴らしい監督、コーチ、諸先輩方からの指導やアドバイスを貰って、刺激的で楽しい毎日を過ごしています。自分に足りないことや課題がたくさんあり、自分はダメだなと思う一方で、まだまだ伸びしろが沢山あり厳しくも楽しくやっています。緊張で何も出来なかつた開幕戦の後、試合から離れていましたが、再び来たチャンスからリーグ戦6試合に出場した今では、自分の武器とするスピードと運動量で自分らしいプレーができるようになり自信がついてきました。

座右の銘は本田圭佑選手の言葉で、「夢を語れ。笑われても何度も語れ。結果を出せば、笑い声はいつの間にか消えている。そこで終わりじゃない。次はもっと笑われる夢を考えろ。」ストレスは感じないどこまでも明るい「あきと」に大いに期待してください。